

授業科目名	生活	大学名	作新学院大学女子短期大学部
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期（9月26日～1月23日）
学部・学科等	女子短期大学部・幼児教育科	曜日	木曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	4限
標準対象年次	1年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	未定
担当教員名	青木章彦		
電話番号（代表者名）	028-667-7111（作新学院大学女子短期大学部 代表）	e-mail アドレス	aoki@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> 子どもたちの自然離れ、日常の基本的な生活習慣や技能の低下という現実をふまえて、小学校低学年に導入された「生活科」だが、小学校教育の中に遊びの視点が盛り込まれたのは画期的なことである。また、幼稚園や保育所での子どもたちの生活の主要な部分は遊びである。また、新教育要領では幼小連携が重要視されており、幼（保）小連携は今後さらに深まると考えられる。</p> <p>小学校低学年の「生活科」には、幼稚園教育要領の領域「環境」との接点が見いだされるはずである。本講義では、幼児教育の視点から「生活科」をとらえ直してみよう。</p> <p><前提とする知識・経験> 特になし</p> <p><授業の具体的な進め方> この授業では、幼小連携・保小連携を中心に、実践をとおして「生活科」を理解する。また、身近な素材を使った遊びの実践をする。</p> <p><授業計画> 第1回：ガイダンス 「生活科」と領域「環境」、秋を感じよう（虫の声） 第2回：実技1 ススキのミミズク 第3回：レポート（秋を見つけよう）の説明 落ち葉の説明 雑木林の説明 第4回：実技2 ドングリで遊ぶ ドングリ笛 第5回：「生活」と領域「環境」の接点 第6回：第1章 生活科の経緯 第7回：第2章 生活科の目標 第8回：第3章 生活科の内容 第9回：第4章 指導計画の作成等・第5章 生活科の学習指導 第10回：幼小連携・保小連携について 第11回：実技3 落ち葉のスタンドグラス 第12回：実技4 生活科マップの作成 第13回：子どもの生活環境と子ども向けの遊びの素材さがし1 第14回：実技5 手作りおもちゃ 第15回：動物とのふれあい授業（栃木県獣医師会による特別授業） 定期試験：試験を実施する（筆記試験）。</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 教科書：『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 生活編』 東洋館出版社 ¥144</p> <p><成績評価法> 期末試験 40%、レポート 40%、授業中の課題 10%、発表 10% また、2/3以上出席しないと評価の対象としない。</p> <p><教員からのメッセージ> 遊びを通して、幼小連携・保小連携を理解しましょう。</p>		